

平成27年度 第3回 臨床腫瘍セミナー 平成27年6月16日(火)18時~19時<sup>11号棟</sup> 第2臨床講義室

主治医力  
で語る

# 腫瘍内科と総合内科の 未来像

福島県立医科大学 白河総合診療アカデミー准教授  
白河厚生総合病院 総合診療科部長

東 光久 先生  
Teruhisa AZUMA



【学歴・略歴】

1996年 京都大学医学部卒 同年天理よろづ相談所病院 シュニアレジデント  
1998年 同院 シニアレジデント内科系ローテートコース  
2000年 同院 チーフレジデント  
2002年 同院 総合診療教育部/血液内科 医員兼任  
2004年 同院 総合診療教育部 医員専任  
2007年 国立がんセンター中央病院（現 国立がん研究センター中央病院）がん専門修練医  
血液内科、幹細胞移植科、乳腺・腫瘍内科（現 血液腫瘍科、乳腺科・腫瘍内科）  
2009年 天理よろづ相談所病院 総合診療教育部 医員（兼任：緩和ケアチーム、救急診療チーム、外来化学療法委員）  
2015年 福島県立医科大学 白河総合診療アカデミー 特任准教授（兼 白河厚生総合病院 総合診療科 部長）

## 講演内容

腫瘍内科医はがんの総合内科医と言われるが、腫瘍内科医と総合内科医、共通点やそれぞれの特長はどこにあるのだろうか。腫瘍内科医は単に抗がん治療を行う医師でもないし、総合内科医もまた単に何でも診ることのできる医師という事でもない。両者に通底するのは『主治医力』であり、両者の違いは単に診療する患者のセッティングである。

本セミナーを通じて腫瘍内科医、あるいはがん診療における総合内科医はいかにあるべきかについて議論したい。

**多くの方のご参加をお待ちしております！**

次回開催予定  
平成27年7月  
第2臨床講義室  
都合により変更となる場合がございます

- がん治療に携わる医師、メディカルスタッフ及び、患者様、一般の皆様を対象に公開セミナーとして開催されます。
- 本セミナーは「東北がんプロフェッショナル養成推進プラン」事業の一環となっています。
- 本学大学院生は、大学院授業要綱で規定する共通必修科目（規定の8）に該当します。履修票を忘れずにお持ちください。

問合せ：福島県立医科大学教育研修支援課  
がんプロフェッショナル養成支援室  
TEL:024-547-1806  
E-MAIL: ganpro@fmu.ac.jp